

問1

胸水について正しい組み合わせはどれか。1つ選べ。

- 1. 癌性胸膜炎 - 漏出性胸水
- 2. 結核性胸膜炎 - ADA 高値
- 3. 肺炎随伴性胸水 - 血性胸水
- 4. 悪性胸膜中皮腫 - CEA 高値
- 5. 左心不全 - 滲出性胸水

問2

COPD について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- 1. 閉塞性換気障害
- 2. 肺容積は増大する
- 3. 横隔膜は平底化する
- 4. 喫煙との関連はない
- 5. 肺野透過性が亢進する

問3

気管支喘息について正しい組み合わせはどれか。1つ選べ。

- 1. 換気障害 - 拘束性
- 2. 小児喘息 - アトピー性
- 3. 呼吸音 - fine crackles
- 4. 治療 - 鎮咳薬
- 5. 喀痰 - 好中球増多

問4

肺アスペルギルス症発症の要因となる項目はどれか。1つ選べ。

- 1. 免疫抑制状態
- 2. 高血圧症
- 3. 脳血管障害
- 4. 胃潰瘍
- 5. 有酸素運動

問5

肺腺癌について正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. 外科療法は適応外である
- 2. EGFR 遺伝子変異は稀である
- 3. 日本人では最も多い組織型である
- 4. 他の組織型と比較し予後不良である
- 5. 喫煙とは関連しない

問6

気胸について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 胸腔ドレーンは禁忌である
2. 外科適応にはならない
3. 緊張性気胸は緊急性のある状態である
4. 月経に関連して発症することはない
5. 発症時にダイビングをして悪化することはない

問7

市中肺炎の重症度分類 A-DROP の項目について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 意識障害
2. 脱水
3. 呼吸不全
4. 血圧低下
5. 浸潤影の範囲

問8

特発性肺線維症について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 閉塞性換気障害が特徴である
2. 聴診で fine crackles を聴取する
3. 気管支拡張薬は標準的治療薬である
4. 小児にも好発する
5. 予後良好な疾患である

問9

肺非結核性抗酸菌症について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. Mycobacterium Avium Complex (MAC) が多い
2. ヒトからヒトへ強い感染性の報告がある
3. 空洞性病変を形成することは稀である
4. 女性より男性に多い
5. 急性発症が特徴である

問10

呼吸機能検査で拘束性換気障害を示しているデータはどれか。1つ選べ。

1. 1秒率 81%, %肺活量 76%
2. 1秒率 56%, %肺活量 82%
3. 1秒率 92%, %肺活量 95%
4. 1秒率 71%, %肺活量 82%
5. 1秒率 69%, %肺活量 89%

問 11

動脈血液ガス分析でⅡ型呼吸不全を示すデータはどれか。1つ選べ。

1. pH 7.36, PaCO₂ 43Torr, PaO₂ 43Torr
2. pH 7.41, PaCO₂ 44Torr, PaO₂ 70Torr
3. pH 7.50, PaCO₂ 34Torr, PaO₂ 120Torr
4. pH 7.35, PaCO₂ 52Torr, PaO₂ 57Torr
5. pH 7.39, PaCO₂ 40Torr, PaO₂ 65Torr

問 12

fine crackle を聴取する可能性が最も低い疾患はどれか。1つ選べ。

1. 特発性肺線維症
2. 薬剤性間質性肺炎
3. びまん性肺泡出血
4. 強皮症関連間質性肺炎
5. 過敏性肺臓炎

問 13

気管支肺泡洗浄液が米のとぎ汁様となる疾患はどれか。1つ選べ。

1. サルコイドーシス
2. 肺泡蛋白症
3. 好酸球性肺炎
4. 夏型過敏性肺炎
5. ニューモシスチス肺炎

問 14

肺野に空洞性陰影がみられる疾患として誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 肺結核
2. 肺扁平上皮癌
3. 肺アスペルギルス症
4. ニューモシスチス肺炎
5. 多発血管炎性肉芽腫症 (GPA)

問 15

正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 結核の感染は飛沫感染である
2. 抗酸菌は tiehl-neelsen 染色で青色の桿菌として染色される
3. 肺結核の好発部位は S1, S2, S6 である
4. pneumocysts jirveci は原虫に分類される
5. ニューモシスチス肺炎の治療においてステロイドは禁忌である

問 16

アルコール消毒が効きにくいウイルスはどれか。1つ選べ。

1. Ebola virus
2. rotavirus
3. influenza virus
4. rubella virus
5. SARS-CoV-2

問 17

医療介護関連肺炎について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 耐性菌による肺炎が多いため、抗菌薬の投与期間は3週間程度を目安とする
2. 過去150日以内の入院歴や抗菌薬投与歴は耐性菌のリスク因子である
3. 介護施設に入所していることはリスク因子に該当する
4. 軽度の基礎疾患をもつ高齢者の肺炎は医療介護関連肺炎に含まれる
5. 原因菌で最も多いものはMRSAである

問 18

肺炎球菌について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 肺炎球菌においてマクロライド耐性をもつものは90%である
2. セフトリアキソンはペニシリン耐性肺炎球菌に有効である
3. 肺炎球菌感染症は尿中抗原が有用である
4. 肺炎球菌肺炎の既往があっても、肺炎球菌ワクチン接種の対象である
5. 肺炎球菌はグラム陽性球菌であるため、グラム染色で赤色に染まる

問 19

正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 潜在性結核は保健所への報告は必要ない
2. インターフェロン γ 遊離試験 (IGRA) は結核既感染でも陽性となる
3. インターフェロン γ 遊離試験 (IGRA) は結核に感染後約2週間で陽性となる
4. 結核患者はN95マスクを装着する
5. 日本の結核新規登録患者数は増加傾向にある

問 20

レジオネラ肺炎について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 罹患しても重症化することはない
2. 尿中抗原の検出が有用である
3. 喀痰 Gram 染色が有効である
4. 小川培地での培養を用いる
5. 2類感染症である

問 21

正しい組み合わせはどれか。1つ選べ。

1. サルコイドーシス — 血清 Ca 値低値
2. 特発性肺線維症 — DLco 値上昇
3. 慢性好酸球性肺炎 — 気管支肺胞洗浄液中リンパ球分画増多
4. 肺胞出血 — 喀痰中ヘモジデリン貪食
5. 肉芽腫性多発血管炎 — ACE 値上昇

問 22

気管支喘息よりも心不全を示唆する症状として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 喘鳴
2. 発作性呼吸困難
3. 咳嗽
4. 下肢浮腫
5. 喀痰

問 23

気管支喘息増悪の原因となり得る合併疾患として最も適切でないのはどれか。1つ選べ。

1. COPD
2. 花粉症
3. 緑内障
4. 精神疾患
5. 声帯機能不全

問 24

気管支喘息より COPD を示唆する所見として最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 血液検査での好酸球高値
2. 血液検査での非特異的 IgE 高値
3. 喀痰中好酸球高値
4. 呼気一酸化窒素高値
5. 上肺野有意な透過性の亢進

問 25

血清 IgE 高値を特徴とする肺疾患はどれか。1つ選べ。

1. サルコイドーシス
2. 特発性肺線維症
3. 特発性器質化肺炎
4. 非結核性抗酸菌症
5. 気管支喘息

問 26

過敏性肺炎の診断上重要度の最も低い項目はどれか。1つ選べ。

1. ペットの有無
2. 職業歴
3. 症状の再現性
4. 居住環境
5. 喘息の既往

問 27

喫煙と関連する疾患はどれか。正しい組み合わせを1つ選べ。

- a. 特発性肺線維症
- b. 急性好酸球性肺炎
- c. サルコイドーシス
- d. 皮膚筋炎関連間質性肺炎
- e. 特発性器質化肺炎

1 (a, b) 2 (a, e) 3 (b, c) 4 (c, d) 5 (d, e)

問 28

間質性肺炎急性増悪発症時の対応について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. HRCT 評価
2. 動脈血液ガス評価
3. SpO₂ 持続モニタリング
4. 6 分間歩行試験
5. 過去の胸部単純写真との比較

問 29

特発性器質化肺炎について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 致死的経過をとる
2. 気管支肺胞洗浄液中のリンパ球分画増多
3. 気管支鏡肺生検組織の Masson 体
4. 蜂巣肺
5. 副鼻腔炎の合併

問 30

じん肺の原因として最も考えにくいのはどれか。1つ選べ。

1. ベリリウム
2. クリソタイル
3. 溶接ヒューム
4. シリカ
5. 窒素

問 31

小細胞肺癌について誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 喫煙と強い関連がある
2. 腫瘍マーカーはProGRPが上昇する
3. 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群を合併する
4. Lambert-Eaton 症候群を合併する
5. 外科的切除が可能であることが多い

問 32

胸腺腫の合併症はどれか。正しい組み合わせを1つ選べ。

- a. 女性化乳房
- b. 赤芽球癆
- c. 重症筋無力症
- d. 高カルシウム血症
- e. 高ガンマグロブリン血症

1 (a, b) 2 (a, e) 3 (b, c) 4 (c, d) 5 (d, e)

問 33

肺過誤腫について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 悪性腫瘍である
2. 軟骨、脂肪などの間葉系成分を含む
3. 胸痛を伴うことが多い
4. ホルモンを産生することが多い
5. 自己抗体を産生することが多い

問 34

前縦隔腫瘍の経皮的針生検の際に注意すべき動脈はどれか。1つ選べ。

1. 椎骨動脈
2. 内胸動脈
3. 甲状腺動脈
4. 肋頸動脈
5. 腋窩動脈

問 35

睡眠時無呼吸症候群の診断に必須の検査はどれか。1つ選べ。

1. 睡眠ポリグラフ検査
2. スパイロメトリー
3. 心電図
4. 胸部CT
5. 動脈血液ガス分析

問 36

68歳の女性。5日前から血痰が出現し持続するため来院した。発熱はない。昨年健康診断の胸部X線で異常を指摘されたが受診していなかった。

既往：特記すべきことはない

喫煙歴：なし

喀痰塗抹 Ziehl Neelsen 染色陽性、喀痰結核菌 PCR 検査陰性

胸部 CT：右中葉に粒状影を認める

この疾患で我が国での原因菌として最も頻度が高いのはどれか。1つ選べ。

1. Mycobacterium avium complex
2. Mycobacterium abscessus
3. Mycobacterium chelonae
4. Mycobacterium kansasii
5. Mycoplasma pneumoniae

問 37

68歳の女性。非喫煙者。健診で胸部レントゲン異常を指摘され受診した。胸部 CT 画像を以下に示す。この疾患で誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 初期は無症状の場合が多い
2. 組織型は腺癌が最も多い
3. 組織型の推定に腫瘍マーカーは有用である
4. 進行病期の診断に PET-CT 検査は有用である
5. 進行病期がステージIVで発見されることは稀である



問 38

72歳の男性。解体業で石綿（アスベスト）曝露歴あり。胸部CTで右側の胸水貯留と全周性のびまん性胸膜肥厚を認め、胸水中のヒアルロン酸が異常高値であった。

この疾患で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 石綿（アスベスト）曝露から5年以内に発症する
2. 胸膜原発の悪性腫瘍の中で最多である
3. 低分化腺癌との鑑別は容易である
4. 予後は比較的良好である
5. 免疫チェックポイント阻害薬は使用できない

問 39

当院にて気管支喘息と診断し、通院されている 35 歳女性。治療として定時の低用量吸入ステロイドが用いられている。最近、喘鳴発作が頻繁にみられる様になったとの訴えが、本日の定期外来受診時にあった。考慮する治療として誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 頓用の吸入短時間作用型 β_2 刺激薬追加
2. 頓用の内服抗ロイコトリエン拮抗薬追加
3. 定時の吸入長時間作用型 β_2 刺激薬追加
4. 定時の吸入ステロイド薬の用量増量
5. 定時の内服抗ロイコトリエン拮抗薬追加

問 40

54 歳男性。身長 168 cm、体重 88 kg。最近、就眠時の鼾を同居家族に指摘されており、日中の眠気も自覚されていた。精査の結果、閉塞性睡眠時無呼吸症候群と診断された。この疾患に最も考慮される治療はどれか。1つ選べ。

1. 気管支拡張薬投与
2. CPAP 療法
3. 内服ステロイド薬投与
4. 吸入ステロイド薬投与
5. 内服マクロライド投与

呼吸器コースについて

1：出席について

基本的に、第2内科が担当する授業では出席を取ります。

当初は名簿に「○」をつける形式でしたが、途中(呼吸器のあたり)から秘書さんが授業前に席に座っている人をチェックする形式に変わりました。

2：呼吸器のグループ発表統括、アクティブラーニングについて

第4週、第5週のグループ発表統括は、休講でした。

第5週のアクティブラーニングは・・・失念してしまいました。すみません。

第6週のアクティブラーニング(大野先生ご担当)は、肺癌についての講義でした。授業の冒頭で何人かの学生に当てて答えさせておりましたが、途中からは通常の講義となりました。

第6週のグループ発表統括は・・・失念してしまいました。すみません。

3：呼吸器の合否情報など

本試の実施日は2022年5月20日、発表は2022年5月26日でした。

出席停止者に対する追試は2022年5月25日に行われました。

再試対象者は20名。

再試は2022/06/01(水)(腎・泌尿器の2週目の途中)でした。

再試の問題は、出題された順番は異なるものの本試と同じ問題でした。

再試の合否発表はありませんでした。

4：その他、試験情報など

試験実施直前の講義(つまり試験実施数十分前)に、試験に関して次の2点の情報が口頭で提供されました。

- ・過去問とは異なる。
- ・MACとA-Dropsについて出題する。

この時点では記述なのか選択肢なのかはわからず、学生側は混乱しました。

昨年までは本試の問題は持ち帰り可でしたが、今年は問題が回収されました。

本試の次の週の水曜日に行われた追試の問題は、本試と同じ問題が使用されたそうです(順番も同じ)。

追試終了後、本試の試験問題が返却されました。